

1 令和5年度【中間】第2期東御市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

【達成度:実績値/量の見込み】

基本理念 I 子どもも大人も輝き、人と文化を育むまち

基本目標 1 安心して子どもを産み育てられるまちを目指す

基本施策 1 子育て家庭への細やかな支援の充実

No	項目・施策の展開 (第4章7(48~60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36~47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況				令和5年度計画(PPLAN)	令和5年度中間実績(Do) ※12月末現在における取り組みの状況	担当課	
					R2年度	R3年度	R4年度				R5年度 (中間)
1	愛着形成の支援と孤立化予防	母子の愛着形成の支援や児童虐待を予防するため、妊娠期及び乳児期早期を対象とした教室や相談事業等を開催します。	利用者支援事業	一般型(実施か所数)	1	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭や妊産婦が、助産所とうみをはじめ、保育園・幼稚園、子育て支援センターといった地域子育て支援資源や保健・医療・福祉等の制度、サービスを円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、必要な子育て支援サービス基盤の構築を図ります。</li> <li>・子育て支援センターにおける事業については、利用対象者及び利用者実態を分析するとともに、利用者の声をアンケートにより収集し、よりニーズの高い事業への取り組みを強化します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に保育所等を利用していない0~2歳児を持つ子育て家庭の育児疲れによる心理的・身体的負担の実態を把握するため、昨年6月にサービス利用実態を把握するための調査に取り組みました。</li> <li>※保育所等の利用や子育て支援センターの利用のない0~2歳児:209人(66.3%)</li> <li>・これら調査結果をもとに、乳児健診等の機会を捉えて支援ニーズの把握に取り組み、「一時預かり」事業を拡充していくことを方向づけています。</li> <li>・昨年10月、子育て支援センター登録者を対象にアンケートを実施し、満足度の高い行事や講座への選択と集中のほか、センターの多機能化を目指し、令和6年度からの「一時預かり」事業の実施を方向づけています。</li> <li>※登録者数:106人、回答者数:84人(回答率:79.2%)</li> </ul>	子ども家庭支援課
				実績値(実施か所数)	1	1	1	1			
				達成度	100%	100%	100%	100%			
				母子保健型(実施か所数)	1	1	1	1			
				実績値(実施か所数)	1	1	1	1			
				達成度	100%	100%	100%	100%			
			地域子育て支援拠点事業	量の見込み(延人)	17,900	17,950	18,050	18,100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛着形成の支援と孤立化予防のため、より必要性の高い対象者に対し事業が実施できるよう、関係各課と連携したうえで、支援の必要な対象者に利用してもらえ、仕組みづくりを進めます。</li> <li>・妊娠から出生、乳幼児期、就園、就学域等のライフサイクルにおける早期予防的対応の必要性を関係者で認識できるように、連携会議を立ち上げます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターを利用せず、孤立しがちになっている子育て家庭に対しては、本年度7月から伴走型相談支援の専従保健師の配置により、継続的な相談支援を行い利用動向に努めたほか、支援担当者を複数制にして個別相談ができる体制をとりました。</li> <li>※子育て支援センター利用実績: 【具体的な取組】</li> <li>・リズム遊び…実施回数:8回、参加者数:172人</li> <li>・おはなし絵本…実施回数:7回、参加者数:104人</li> <li>・親子運動遊び…実施回数:2回、参加者数:43人</li> <li>・育児座談会…実施回数:8回、参加者数:112人</li> <li>・すくすく相談…実施回数:7回、参加者数:93人</li> <li>・初めてのあかちゃんひろば…実施回数:9回、参加者数:104人</li> <li>・1歳のお誕生会…実施回数:4回、参加者数:40人</li> <li>・あそびのひろば…実施回数:5回、参加者数:39人</li> <li>・発達支援事業…実施回数:15回、参加者数:213人</li> </ul>	
				実績値(延人)	9,219	9,977	11,192	6,201			
				達成度	52%	56%	62%	34%			
2	世代を超えた子育て支援体制の推進	中高生や子育て世代などとの交流の場を創出し、世代を超えた子育て支援体制を推進します。また子育てしやすい地域づくりについて、市民や地域、企業等とともに学び、考える機会を設けます。	子育て援助活動支援事業(就学児対象のファミリー・サポート・センター事業)	量の見込み(人)	46	46	46	46	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で子どもや子育て家庭を見守り、支えていくために、子育て支援サポーター養成講座の修了者を中心とする地域人材が新たな“担い手”となって活動する「見守り支援員」制度の創設に取り組みます。</li> <li>・「身近なところでいつでも気軽に親子で集える場所」のニーズが高いことを踏まえ、サテライト化の推進を図ります。サテライト化にあたっては保育園併設型の仕組みづくりを検討し、方向づけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来、親になっていく子どもたちが、命の大切さや親の役割についての学びを深めるとともに、子育て支援人材の育成を目的に、東御青翔高校学生の子育て体験授業の受け入れを行いました。</li> <li>・保育園の協力を得て、身近な相談拠点の場づくりとして、モデル的に北御牧保育園において「ポケットひろば」を実施し、ニーズを把握しました。(ぼけっとひろば:12月末現在40回、389人)</li> <li>・地域において子どもを見守る機会が減少する中、地域全体で子どもと家庭を支えていくための新たな仕組みとして、見守り支援員制度を創設しました。(10月)</li> <li>・支援員の登録拡大を図るため、これまでの子育てサポーター養成講座修了者を中心に、見守り支援員養成研修を年3回実施しました。(7月・1月・2月)</li> <li>(登録者数:12月末現在20名)</li> </ul>	
				実績値(人)	0	0	0	0			
				達成度	0%	0%	0%	0%			
			見守り支援員登録制度(支援対象児童等見守り強化事業)	量の見込み(人)	-	-	-	25			
				実績値(人)	-	-	-	20			
				達成度	-	-	-	80%			
3	自然活動体験の充実	東御の豊かな自然環境の中で、親子で外遊びや里山活動を楽しみ、様々な体験を通じて子どもの元気な育ちを応援します。	-					<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東御の子どもの元気な育ちを支える事業」として、引き続き(公財)身体教育医学研究所へ委託して実施します。</li> <li>【具体的な取組(目標値)】</li> <li>・たんけんひろば…実施回数:3回、参加者数:70人</li> <li>・こうえんひろば…実施回数:10回、参加者数:160人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東御の子どもの元気な育ちを支える事業」として、引き続き(公財)身体教育医学研究所へ委託して実施しました。</li> <li>・たんけんひろば:3回、55人</li> <li>・こうえんひろば:8回、63人</li> </ul>		

1 令和5年度【中間】第2期東御市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

【達成度:実績値/量の見込み】

基本理念 I 子どもも大人も輝き、人と文化を育むまち

基本目標 1 安心して子どもを産み育てられるまちを目指す

基本施策 1 子育て家庭への細やかな支援の充実

No	項目・施策の展開 (第4章7(48~60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36~47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況					令和5年度計画(PLAN)	令和5年度中間実績(Do) ※12月末現在における取り組みの状況	担当課
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (中間)			
4	個別支援の充実	支援が必要な家庭について、個別に相談に対応し、必要な支援を行います。また他機関との連携により、総合的かつ継続的に支援します。	養育支援訪問事業	量の見込み(人回)	50	50	50	50	・改正児童福祉法(R6.4.1施行)により、養育支援訪問事業は相談支援サービスになるため、新たに家事・育児の支援サービスを提供する「子育て世帯訪問支援事業」を広く子育て世帯へ周知するとともに、アウトリーチによる利用勧奨を強化します。 ・サービス業者側の供給が間に合わず必要なサービスが必要なタイミングで利用できないが増えているため、サービス業者の開拓や、別メニューでの支援策を検討します。  【具体的な取組】 ・子育て世帯訪問支援事業  ・親子関係形成支援事業	・家事支援により子育て世帯の負担軽減を行いました。なお、本事業は令和6年4月以降、「子育て世帯訪問支援事業」に移行するため、利用者に混乱が生じないように移行調整に取り組みました。(2世帯28回利用)  ・家庭において養育することが一時的に困難となった子どもにサービスを提供しました。(3世帯4人、延べ15泊利用)  ・家事、育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦を対象に家事、育児等の支援を実施し、負担の軽減を図っています。(36世帯、家事育児訪問延べ816件) ・とりわけ、本事業により登園・登校支援に取り組んだことにより、規則正しい生活・食事の確保等につながり、不登校の改善に一定の効果がみられました。(支援に同意した家庭10件のうち、不登校が改善された家庭9件)  ・子どもとの関わり方に不安を抱えている小学生及び幼児期の保護者(16世帯)を対象に2グループに分け、合計8回を1講座とするペアレント・トレーニングを行いました。また、講座への継続的な参加が困難な保護者に対しては個別の時間を設けてフォローするよう取り組みました。	子ども家庭支援課
				実績値(人回)	28	38	34	28			
				達成度	56%	76%	68%	56%			
			子育て短期支援事業	量の見込み(延人)	10	10	10	10			
				実績値(延人)	12	9	6	15			
				達成度	120%	90%	60%	150%			
			子育て世帯訪問支援事業	量の見込み(延人)	-	-	-	700			
				実績値(延人)	-	-	-	816			
				達成度	-	-	-	117%			
			親子関係形成支援事業 (保護者支援事業)	量の見込み(延人)	-	-	-	160			
				実績値(延人)	-	-	-	128			
				達成度	-	-	-	80%			
5	情報発信の充実	子育て応援ポータルサイト等により適切に情報発信を行います。	-	-	-	-	-	・すくすくポケットの閲覧数や、LINE登録者数の増加につながるよう、子育て・子育てに関する有益な情報をプッシュ型で配信するとともに、子育て・子育て支援情報の市報への掲載を強化します。 ・子育てアプリ「母子モ」の普及促進に合わせ、乳幼児健診の機会を捉えた登録勧奨に取り組みます。	・センターの利用拡大につなげるため、「すくすくぽけっと」「LINE」「インスタグラム」により東部・北御牧センター開催の行事案内、行事の様子、日々のセンターの様子を投稿・配信しに取り組んでいます。 ・また、子育て世帯に関わる情報(園開放、図書館主催の「おはなし会」、講演会等)を投稿、配信し、子育て家庭にとって有益な情報配信に努めています。 ※ポータルサイト「すくすくぽけっと」 (ユーザー数:6,492人(月平均721人)、閲覧数:50,119件) ※すくすくLINE(友達数:261人、配信数:230人)		
6	就労に関する相談	就労に係る相談等ができる機会を設けます。	-	-	-	-	-	・引き続き県の就労相談に取り組むとともに、働きづらさを抱えている保護者に対しては「まいさぼ東御」(東御市社会福祉協議会)と連携して、就労相談の機会を設けていきます。	・子育て支援センターにおいて、職業紹介を行う専門のアドバイザーによる就労相談会を6回開催しています。 ・生活困窮に係る相談は、「まいさぼ東御」につなぐ支援に取り組んでいます。		
7	妊娠期から概ね18歳までの子育て家庭への包括的かつ継続的な支援の実施	東御市に居住する出生から概ね18歳までのライフステージにおいて、「子どもの自立」を目指した支援及び「子育て家庭への包括的かつ継続的な支援」を実施します。	子どもサポートセンターの設置	実施か所数			1	1	・年々増加する子どもと家庭の様々な課題に対応するため、「子ども家庭総合支援拠点」(児童福祉)と「子育て世代包括支援センター」(母子保健)の機能の一体化に取り組むとともに、専門職を増員して伴走型の支援体制を強化します。  ・子どもや子育て家庭の様々な課題については、引き続き縦割りを排した子どもサポートセンター幹事会において連携し、チーム支援に取り組めます。	・子育てに困難を抱える家庭に対して、切れ目なく、漏れなく対応するため、これまでの児童福祉機能に母子保健機能も加え、子どもサポートセンター機能の充実を図りました。 ・様々な困難を抱えている妊産婦と子ども(342人)に対し、専門職(9名)が連携して支援にあたっています。 (訪問・面談:833件、電話相談対応:929件、ケース検討:383件)	
				実績値	-	-	1	1			
				達成度			100%	100%			
			要保護児童対策地域協議会と一体化した「子ども家庭総合支援拠点の運営」	実施か所数			1	1			
				実績	-	-	1	1			
				達成度			100%	100%			
								・要対協登録児童(128人)についてもサポートセンターにおいて一体的に支援するとともに、子ども虐待の早期発見を図るために関係機関との連携強化に努めています。 (通報・通告件数:44件、虐待認定件数:31件) ・虐待発生のリスクを未然に防ぐため、妊娠中からの重層的かつ継続的な支援に取り組んでいるほか、早期に家庭支援事業サービスにつないでいます。			

## 1 令和5年度【中間】第2期東御市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

## 基本理念 I 子どもも大人も輝き、人と文化を育むまち

## 基本目標 1 安心して子どもを産み育てられるまちを目指す

## 基本施策 1 子育て家庭への細やかな支援の充実

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況					令和5年度計画(PLAN)	令和5年度中間実績(Do) ※12月末現在における取り組みの状況	担当課
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (中間)			
7	妊娠期から概ね18歳までの子育て家庭への包括的かつ継続的な支援の実施	東御市に居住する出生から概ね18歳までのライフステージにおいて、「子どもの自立」を目指した支援及び「子育て家庭への包括的かつ継続的な支援」を実施します。	伴走型相談支援	特定妊婦等対象者数					・子どもの成長や子育て、家族間の問題、経済状況などに不安や悩みを抱え、孤立感や不安感を抱く妊婦や子育て家庭に対し、健康保健課の助産師・保健師と連携しながら、相談支援を行い、適切なサービスの利用につなげ、貧困や虐待、産後うつなどの問題の早期発見と予防に取り組みます。	・母子支援対象者(うち特定妊婦11人)19人中19人に対し、健康保健課と連携し、妊婦訪問や新生児訪問などで相談支援を行っています。この伴走型相談支援により、19人中13人が適切なサービスにつながっています。	子ども家庭支援課
				実績値	—	—	—				
				達成度							
			子どもの居場所づくり事業	実施か所数			1	1	・様々な困難に直面している子どもと家庭の孤立を防ぎ、子どもの健全な育ちを支援するため、週1回、食事の提供や生活指導、学習の支援等を行う「子どもの居場所づくり事業」を社会福祉協議会へ委託して実施します。 ・生活や学習等の環境をはじめ、様々な困難を抱える子どもを支援するため、子どもが安心して過ごせる“常設型の居場所”の開設に取り組みます。	・様々な困難を抱える子どもと家庭が地域から孤立することの無いよう、居場所を提供し、生活支援や学習支援、食事を提供する「くるmeふらす」事業を週1回、社会福祉協議会へ委託して実施しています。(延べ利用児童数:489人) ・次年度は週5日利用できる常設型の「こども第三の居場所」事業に取り組み、誰ひとり取り残さない支援に取り組みます。	
				実績値	—	—	1	1			
				達成度			100%	100%			

「東御市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」結果  
【速報値】

対象	母集団	調査数	有効回答数	有効回答率
就学前（0歳～2歳児）児童の保護者	575	120	60	50.0%
就学前（3歳～5歳児）児童の保護者	614	120	44	36.7%
就学後（6歳～12歳）児童の保護者	1,113	130	64	49.2%

※上記保護者を対象とする今回調査で前回調査と大きく変化している回答を中心に抽出しています。

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。  
お子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
- その他: \_\_\_\_\_

	人数				パーセント					前回 就学前計	前回 小学生
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	就学前計	小学生	総計		
1. 父母ともに	44	31	47	122	73%	70%	<b>72%</b>	<u>73%</u>	73%	<b>58%</b>	<b>61%</b>
2. 主に母親	16	12	16	44	27%	27%	<b>27%</b>	<u>25%</u>	26%	<b>38%</b>	<b>36%</b>
3. 主に父親			1	1				2%	1%	<b>1%</b>	
母親、祖父母		1		1		2%			1%	<b>3%</b>	<b>3%</b>
総計	60	44	64	168	100%	100%		100%	100%		

【考察】：5年前と比較すると、父母ともに子育てを行う「共育て」家庭の割合が増えています。

日ごろ、あて名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。（複数回答可）【問A】

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

	人数				パーセント ※0-2歳のみ				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	37			37	62%			62%	61%
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	20			20	33%			33%	36%
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	2			2	<u>3%</u>			3%	<u>10%</u>
5. いずれもない	7			7	<u>12%</u>			12%	<u>7%</u>

【考察】:

5年前と比較すると、「子どもを預かってもらえる親族・知人のいない家庭」の割合が増えています。

【全員】お子さんの子育てや教育をする上で、配偶者以外に気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

1. いる/ある
2. いない/ない

	人数				パーセント					前回 就学前計	前回 小学生
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	就学前	小学生	総計		
1. いる/ある	50	40	56	146	83%	91%	<u>87%</u>	<u>88%</u>	87%	<u>93%</u>	<u>92%</u>
2. いない/ない	10	4	8	22	17%	9%	<u>13%</u>	<u>13%</u>	13%	<u>5%</u>	<u>8%</u>
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%	100%		

【考察】:

5年前と比較すると、就学前・就学後の家庭ともに「配偶者以外に気軽に相談できる人」の割合が減っています。

子育てをするなかで、悩みや不安、負担を感じる(感じた)ことがあるとすれば、どのようなことですか。(複数回答可)

- 1. 子どもの病気や発育・発達に心配や不安がある
- 2. 子どもの食事や栄養に関すること
- 3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
- 4. 子どもと過ごす時間が十分取れていないと感じること
- 5. 子どもの教育に関すること
- 6. 子どもの友達づきあいに関すること
- 7. 子どもの登園拒否や不登校など
- 8. 子育ての仕方が分からない
- 9. 育児ストレス等により身体的・精神的な疲労が生じている
- 10. 仕事や自分のやりたいこと等自分の時間が十分に取れないこと
- 11. 子育てへの経済的負担が大きいこと
- 12. 話し相手や相談相手がいない、または少ないこと
- 13. 子育てへの協力者(親族や友人等)がいないこと
- 14. 子育てに関する支援サービスの情報や利用方法がよく分からない
- 16. 悩みや不安、負担を特に感じていない
- その他: \_\_\_\_\_

	人数				パーセント					前回	前回
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	就学前	小学生	総計	就学前計	小学生
11. 子育てへの経済的負担が大きいこと	31	18	25	74	52%	41%	47%	39%	44%	28%	32%
1. 子どもの病気や発育・発達に心配や不安がある	24	19	19	62	40%	43%	41%	30%	37%	34%	13%
5. 子どもの教育に関すること	15	11	25	51	25%	25%	25%	39%	30%	32%	27%
4. 子どもと過ごす時間が十分取れていないと感じること	19	12	18	49	32%	27%	30%	28%	29%	28%	16%
2. 子どもの食事や栄養に関すること	23	13	12	48	38%	30%	35%	19%	29%	45%	13%
10. 仕事や自分のやりたいこと等自分の時間が十分に取れないこと	22	13	12	47	37%	30%	34%	19%	28%		
6. 子どもの友達づきあいに関すること	12	11	22	45	20%	25%	22%	34%	27%	21%	39%
3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと	12	9	11	32	20%	20%	20%	17%	19%	17%	11%

【考察】:

5年前と比較すると、就学前・就学後の家庭ともに「子育てへの経済的負担が大きいこと」の割合が最も高く、次いで「子ども病気や発育・発達への心配」の割合が多くなっています。

また、「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」についても前回調査を上回っています。

母親の就労状況についてお答えください。

※フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度を働く形態

※パート・アルバイト:フルタイム以外の働く形態

- 1.フルタイムで働いている
- 2.フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中等である
- 3.パート・アルバイトなどで働いている
- 4.パート・アルバイトなどで働いているが、産休・育休・介護休業中等である
- 5.以前は働いていたが、現在は働いていない
- 6.これまで働いたことがない

	人数				パーセント ※166名中					前回	前回
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	就学前	小学生	総計	就学前計	小学生
1.フルタイムで働いている	18	13	34	65	30%	30%	30%	54%	39%	23%	32%
2.フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中等である	14			14	23%		23%		8%	15%	
3.パート・アルバイトなどで働いている	17	18	18	53	28%	42%	34%	29%	32%	33%	44%
4.パート・アルバイトなどで働いているが、産休・育休・介護休業中等である	2	2		4	3%	5%	4%		2%	4%	2%
5.以前は働いていたが、現在は働いていない	9	10	11	30	15%	23%	18%	17%	18%	22%	18%
総計	60	43	63	166	100%	100%		100%	100%		

【考察】:

5年前と比較すると、就学前・就学後の家庭ともに「フルタイムで働いている」母親の割合が高くなっています。とりわけ就学後の家庭にとっては顕著に増加しています。

フルタイムへの転職希望はありますか。

- 1.フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある。
- 2.フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない。
- 3.パート・アルバイト等の就労をこのまま続けることを希望する。
- 4.パート・アルバイト等をやめたいと思っている。

	人数				パーセント ※パート等					前回 就学前計	前回 小学生
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	就学前	小学生	総計		
1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある。	3		3	6	16%		16%	17%	11%	14%	14%
2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない。	10	10	4	24	53%	50%	51%	22%	42%	32%	14%
3. パート・アルバイト等の就労をこのまま続けることを希望する。	6	9	11	26	32%	45%	38%	61%	46%	47%	64%
4. パート・アルバイト等をやめたいと思っている。		1		1		5%	5%		2%	1%	
<b>総計</b>	<b>19</b>	<b>20</b>	<b>18</b>	<b>57</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>		<b>100%</b>	<b>100%</b>		

【考察】:

5年前と比較すると、就学前・就学後の家庭ともに「フルタイムへの転職希望」の割合が高くなっています。とりわけ就学前の家庭にあつては顕著に増加しています。

就労したいという希望はありますか。

- 1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい。
- 2. 1年より先、一番小さい子どもが、大きくなったところに就労したい。
- 3. 就労の予定はない。

	人数				パーセント ※無職					前回 就学前計	前回 小学生
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	就学前	小学生	総計		
1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい。	2	3	9	14	22%	30%	26%	82%	47%	33%	39%
2. 1年より先、一番小さい子どもが、大きくなったところに就労したい。	7	6	1	14	78%	60%	68%	9%	47%	54%	15%
3. 就労の予定はない。		1	1	2		10%	10%	9%	7%	10%	8%
<b>総計</b>	<b>9</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>30</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>		<b>100%</b>	<b>100%</b>		

【考察】:

5年前と比較すると、就学前の家庭にあつては「1年より先、一番小さい子どもが大きくなったら就労したい」割合が高くなっています。この“大きくなったら”の年齢については「3歳」と回答された方が最も多くなっています。

また、就学後の家庭にあつては、「すぐにでも、1年以内に就労したい」割合が顕著に増加しています。

あて名のお子さんは、年間を通じて平日は、定期的にどのような教育・保育事業等を利用していますか。(複数回答可)

- 1. 保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
- 2. 幼稚園(通常就園時間の利用)
- 3. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)
- 6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
- 7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8. 自治体の認証・認定保育施設(上記1の保育園ではないが、自治体が独自に認証・認定した施設)※東御市内にはありません
- 9. その他の認可外の保育施設
- 10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
- その他: \_\_\_\_\_

	人数				パーセント ※利用者				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
1. 保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	27	31		58	77%	70%		73%	85%
2. 幼稚園(通常就園時間の利用)	1	5		6	3%	11%		8%	9%
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	2	4		6	6%	9%		8%	4%
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)	3	2		5	9%	5%		6%	1%
3. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	1	2		3	3%	5%		4%	4%
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	2			2	6%			3%	3%
9. その他の認可外の保育施設		1		1		2%		1%	1%

【考察】:

5年前と比較すると、「保育園」が減少し、「認定こども園」「小規模な保育施設」が増加しています。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業等について、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答可)

なお、これらの利用にあたって、一定の利用料が発生します。「1. 保育園」の場合、世帯収入に応じた保育料が設定されています。

- 1. 保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
- 2. 幼稚園(通常就園時間の利用)
- 3. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)
- 6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
- 7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8. 自治体の認証・認定保育施設(上記1の保育園ではないが、自治体が独自に認証・認定した施設)※東御市内にはありません
- 9. その他の認可外の保育施設
- 10. 子育て支援センターの一時預かり事業
- 11. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 12. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
- その他: \_\_\_\_\_

	人数				パーセント ※小学生除く回答者				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
1. 保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	43	36		79	83%	84%		83%	88%
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	12	13		25	23%	30%		26%	9%
2. 幼稚園(通常就園時間の利用)	8	8		16	15%	19%		17%	17%
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)	5	4		9	10%	9%		9%	4%
10. 子育て支援センターの一時預かり事業	5	2		7	10%	5%		7%	0%
3. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	4	3		7	8%	7%		7%	9%

※ 5%以下の回答を省略

【考察】:

5年前と比較すると、「認定こども園」を利用したいとする回答が大きく増加しています。

平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

- 1. 子どもの母親か父親が働いていないなどの理由で利用する必要がない
- 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4. 利用したいが、保育園・幼稚園等の空きがない
- 5. 利用したいが、経済的な理由で保育園・幼稚園等を利用できない
- 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7. 利用したいが、保育園・幼稚園等の質や場所について納得できない
- 8. 子どもがまだ小さいため、大きくなったら預けようと考えている
- その他: \_\_\_\_\_

	人数				パーセント ※0-2歳非利用者				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
1. 子どもの母親か父親が働いていないなどの理由で利用する必要がない	12			12	48%			48%	59%
8. 子どもがまだ小さいため、大きくなったら預けようと考えている	11			11	44%			44%	54%
5. 利用したいが、経済的な理由で保育園・幼稚園等を利用できない	5			5	20%			20%	0%
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	4			4	16%			16%	9%
4. 利用したいが、保育園・幼稚園等の空きがない	3			3	12%			12%	7%
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1			1	4%			4%	0%
復職に伴い次年度から保育園入園を申し込	1			1	4%			4%	

【考察】:

5年前と比較すると、就学前の家庭にあっては「子どもの母親か父親が働いていない」割合が低くなっています。

「8. 子どもがまだ小さいため...」と回答した方は、何歳になったら預けようと考えていますか。年齢をお書きください。

回答を入力

	人数				パーセント ※0-2歳8選択			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1歳	3			3	27%			27%
1歳半	1			1	9%			9%
3歳	4			4	36%			36%
3歳半	1			1	9%			9%
4歳	1			1	9%			9%

【考察】:

「子どもが大きくなったら預けようと考えている」割合で最も多い回答が「3歳」次いで「1歳」の順になっています。

あて名のお子さんについて、土曜日に、定期的な教育・保育事業等の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)

- 1. 利用する必要がない
- 2. ほぼ毎週利用したい
- 3. 月に1~2回は利用したい

	人数				パーセント ※小学生除く				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
1. 利用する必要がない	28	31		59	47%	70%		57%	73%
2. ほぼ毎週利用したい	1	1		2	2%	2%		2%	5%
3. 月に1~2回は利用したい	23	12		35	38%	27%		34%	21%
(空白)	8			8	13%			8%	
総計	60	44		104	100%	100%		100%	

【考察】:

5年前と比較すると、「月に1~2回は利用したい」割合が増加しています。

【土曜日や日曜・祝日で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方のみお答えください】  
毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由はなんですか。(複数回答可)

- 1. 月に数回仕事が入るため
- 2. 平日に出来なかった用事を済ませるため
- 3. 家族・親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜き・リフレッシュのため
- その他: \_\_\_\_\_

	人数				パーセント ※該当者のみ				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
1. 月に数回仕事が入るため	16	14		30	76%	82%		79%	65%
4. 息抜き・リフレッシュのため	9	3		12	43%	18%		32%	10%
2. 平日に出来なかった用事を済ませるため	4	4		8	19%	24%		21%	10%
3. 家族・親族の介護や手伝いが必要なため		1		1		6%		3%	4%

【考察】:

5年前と比較すると、理由として「月に数回仕事が入る」「息抜き・リフレッシュのため」の割合が増加しています。

【「幼稚園」を利用されている方のみお答えください】

あて名のお子さんの夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業等の利用を希望しますか。

- 1. 利用する必要はない
- 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
- 3. 休みの期間中、週に数日利用したい

	人数				パーセント ※該当者のみ				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
1. 利用する必要はない	1	3		4	25%	27%		27%	64%
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	2	2		4	50%	18%		27%	14%
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	1	6		7	25%	55%		47%	23%
総計	4	11		15	100%	100%		100%	

【考察】:

5年前と比較すると、「利用する必要はない」の割合が大きく減少し、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が大きく増加しています。

あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期に働くなどの目的で、不定期の保育園・幼稚園等を利用したいと思いますか。

なお利用にあたって、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい
2. 利用する必要はない

	人数				パーセント ※小学生除く				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
1. 利用したい	31	19		50	52%	43%		30%	21%
2. 利用する必要はない (空白)	24	24		48	40%	55%		29%	38%
総計	60	44		168	100%	100%		100%	40%

【考察】:

5年前と比較すると、「利用したい」の割合が増加し、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

利用したい場合、利用希望の目的についてお答えください。(複数回答可)

なお利用にあたって、一定の利用料がかかります。

- あ. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的のため利用したい
- い. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹含む)や親の通院のとき利用したい
- う. 不定期に働くため利用したい
- え. 就職活動のため利用したい
- その他: \_\_\_\_\_

	人数				パーセント ※小学生除く該当者				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
あ. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的のため利用したい	23	10		33	74%	53%		66%	11%
い. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹含む)や親の通院のとき利用したい	19	11		30	61%	58%		60%	15%
う. 不定期に働くため利用したい	7	4		11	23%	21%		22%	7%
え. 就職活動のため利用したい	1	2		3	3%	11%		6%	2%
お. 急な仕事のため	1			1	3%			2%	
お. 心を休めるため		1		1		5%		2%	
お. 通院		1		1		5%		2%	
お. 預け先がない時	1			1	3%			2%	

【考察】:

5年前と比較すると、不定期に子どもを預けたい理由として「私用・リフレッシュ目的のため利用したい」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院のとき利用したい」の割合が大きく増加しているほか、「不定期に働くため利用したい」の割合も高くなっています。

私用、親の通院、不定期に働くなどの目的で、お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答可)

- 1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)
- 2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:子育て支援センター)
- その他: \_\_\_\_\_

	人数				パーセント ※小学生除く該当者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 大規模施設で子どもを保育する事業 (例:幼稚園・保育所等)	19	10		29	61%	53%		58%
2. 小規模施設で子どもを保育する事業 (例:子育て支援センター)	23	12		35	74%	63%		70%

【考察】:

不定期に子どもを預ける場合、「小規模施設で子どもを保育する事業所(子育て支援センターなど)」を希望する割合が7割と最も多くなっています。

あて名のお子さんについて、あなたの家庭では現在、市の「東部子育て支援センター」、  
「北御牧子育て支援センター」を利用していますか。

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

	人数				パーセント ※0-2歳のみ				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
1. 利用している	20			20	34%			34%	18%
2. 利用していない	39			39	66%			66%	68%
総計	59			59	100%			100%	

【考察】:

5年前と比較すると、「利用している」家庭は増加していますが、「利用していない」家庭の割合はほぼ7割と変化はみられません。

「東部子育て支援センター」、「北御牧子育て支援センター」について、今後の利用希望をお聞かせください。

- 1. 利用していないが、今後利用したい
- 2. すでに利用しているが今後利用回数を増やしたい
- 3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

	人数				パーセント ※0-2歳のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 利用していないが、今後利用したい	16			16	27%			27%
2. すでに利用しているが今後利用回数を増やしたい	14			14	23%			23%
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない	27			27	45%			45%
(空白)	3			3	5%			5%
<b>総計</b>	<b>60</b>			<b>60</b>	<b>100%</b>			<b>100%</b>

※ 子育て支援センターを利用していない理由：別紙「自由記述」資料のとおり

【考察】

「利用していないが、今後利用したい」「既に利用していて今後は回数を増やしたい」割合は5割あるものの、「利用したいと思わない」もほぼ同じ割合になっています。

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育・幼稚園等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、子どもを預けられる保育・幼稚園等があっても1歳になる前に復帰しますか。(母親が回答)

- 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
- 2. 1歳になる前に復帰したい

	人数				パーセント ※0-2歳該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	13			13	93%			93%
2. 1歳になる前に復帰したい	1			1	7%			7%
<b>総計</b>	<b>14</b>			<b>14</b>	<b>100%</b>			<b>100%</b>

【考察】

「1歳になるまで育児休業を取得したい」割合が9割を占めています。

母親のお勤め先に、3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが〇歳〇か月の時まで取りたいと思われますか。年齢をお書きください。

回答を入力

	人数			総計	パーセント ※小学生除く			総計
	0-2歳	3-5歳	小学生		0-2歳	3-5歳	小学生	
0.5	1			1	2%			1%
1.0	5	5		10	8%	11%		10%
1.5	4	2		6	7%	5%		6%
1.8	1			1	2%			1%
2.0	5	6		11	8%	14%		11%
2.5	1	1		2	2%	2%		2%
3.0	32	16		48	<u>53%</u>	<u>36%</u>		<u>46%</u>
3.2		1		1		2%		1%
3.5		1		1		2%		1%
3.7	1			1	2%			1%
4.0	1			1	2%			1%
思わない	1			1	2%			1%
自営業なのでなんとも言えません		1		1		2%		1%
取れるギリギリまで	1			1	2%			1%
年少で入園できるまで	1			1	2%			1%
(空白)	6	11		17	10%	25%		16%
<b>総計</b>	<b>60</b>	<b>44</b>		<b>104</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>		<b>100%</b>

#### 【考察】

「3歳」が最も多い回答であるものの、半数には届いていない状況にあります。

あて名のお子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。

- 0. 母子家庭である(次へ飛ぶ)
- 1. 働いていなかった
- 2. 取得した(取得中である)
- 3. 取得していない

	人数				パーセント ※小学生除く				前回 就学前計
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	
0. 母子家庭である	1	1	2		2%	2%		2%	
1. 働いていなかった	1		1		2%			1%	3%
2. 取得した（取得中である）	6	2	8		10%	5%		8%	3%
3. 取得していない	52	40	92		87%	91%		88%	93%
(空白)		1	1			2%		1%	2%
<b>総計</b>	<b>60</b>	<b>44</b>	<b>104</b>		<b>100%</b>	<b>100%</b>		<b>100%</b>	

### 【考察】

5年前と比較すると、「取得した」割合が5ポイント上昇しています。

父親のお勤め先に、3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが○歳○か月の時まで取りたいと思われますか。年齢をお書きください。

回答を入力

個数 / タイムスタンプ 行ラベル	列ラベル				列ラベル			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
0.0		1		1		2%		1%
0.1	3	2		5	5%	5%		5%
0.2	1	1		2	2%	2%		2%
0.3	6	3		9	10%	7%		9%
0.5	1	2		3	2%	5%		3%
1.0	19	13		32	32%	30%		31%
1.5	2	1		3	3%	2%		3%
2.0	2	1		3	3%	2%		3%
3.0	12	5		17	20%	11%		16%
3.5	1			1	2%			1%
わからない		1		1		2%		1%
思わない	1			1	2%			1%
自営業なのでなんとも言えません	1	1		2	2%	2%		2%
(空白)	11	13		24	18%	30%		23%
<b>総計</b>	<b>60</b>	<b>44</b>		<b>104</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>		<b>100%</b>

### 【考察】

「1歳」と回答する割合が3割と最も多く、次いで「3歳」の順となっていますが、未回答の割合も多くなっています。

東御市における子育ての環境や支援についておうかがいします。次のうち、当てはまる数字を選んでください。

満足度が低い      1      2      3      4      5      満足度が高い

○      ○      ○      ○      ○

東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。

回答を入力

---

	人数				パーセント					前回	前回
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	就学前	小学生	総計	就学前計	小学生
1満足度が低い	1	1	5	7	2%	2%	2%	8%	4%	3%	3%
2	15	11	7	33	25%	25%	25%	11%	20%	8%	10%
3	26	14	30	70	43%	32%	38%	47%	42%	47%	44%
4	17	11	15	43	28%	25%	27%	23%	26%	32%	32%
5満足度が高い	1	7	7	15	2%	16%	8%	11%	9%	9%	8%
総計	60	44	64	168	100%	100%		100%	100%		

※ 満足度の数字の理由：別紙「自由記述」資料のとおり

【考察】

5年前と比較すると、就学後の家庭における満足度にはほぼ変化が見られないものの、就学前の家庭においては、満足度がかなり低下しています。

子育てについてどのように感じていますか。

- 1. 楽しいと感じることの方が多い
- 2. 楽しいと感じたり、つらいと感じたりすることが同じくらい
- 3. つらいと感じることの方が多い
- 4. わからない
- その他: \_\_\_\_\_

	人数				パーセント					前回	前回
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	就学前	小学生	総計	就学前計	小学生
1. 楽しいと感じることが多い	41	25	35	101	68%	57%	63%	55%	60%	64%	69%
2. 楽しいと感じたり、つらいと感じたりすることが同じくらい	17	17	27	61	28%	39%	33%	42%	36%	33%	29%
3. つらいと感じることが多い	1		1	2	2%		1%	2%	1%	2%	2%
4. わからない	1	2		3	2%	5%	3%		2%	1%	
基本的に楽しいが苦しい時もたまにある。			1	1				2%	1%		
総計	60	44	64	168	100%	100%		100%	100%		

### 【考察】

5年前と比較すると、就学前の家庭においてはほぼ変化が見られないものの、就学後の家庭においては「楽しいと感じることが多い」割合が低下し、「つらいと同じくらい」の割合がかなり増加しています。

東御市は子育てがしやすいまちだと思いますか。

- 1. 子育てがしやすい
- 2. ふつう
- 3. 子育てがしやすくない
- 4. わからない

	人数				パーセント					前回	前回
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	就学前	小学生	総計	就学前計	小学生
1. 子育てがしやすい	10	15	14	39	17%	34%	24%	22%	23%	33%	31%
2. ふつう	34	19	37	90	57%	43%	51%	58%	54%	49%	58%
3. 子育てがしやすくない	6	4	9	19	10%		10%	14%	11%	4%	5%
4. わからない	10	6	4	20	17%	14%	15%		12%	14%	7%
総計	60	44	64	168	100%	100%		100%	100%		

### 【考察】

5年前と比較すると、「子育てしやすい」割合が減少し、「子育てしやすくない」割合が増加しています。

最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

回答を入力

※ 子育ての環境や支援に関する意見：別紙「自由記述」資料のとおり

「東御市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」結果（自由記述）

【速報値】

対象	母集団	調査数	有効回答数	有効回答率
就学前（0歳～2歳児）児童の保護者	575	120	60	50.0%
就学前（3歳～5歳児）児童の保護者	614	120	44	36.7%
就学後（6歳～12歳）児童の保護者	1,113	130	64	49.2%
市内小学5年生	256人	256人	233	91.3%

【0～2歳児の保護者】

問37:東御市子育て支援センターを利用していない理由を記入してください。

1	1歳より保育園へ入所したため。
2	アットホーム感がなくて、悲しいから。私は大人と話したくて行くのに、ただの"遊び場の提供"と言う感じ。知り合いもないから、行ってもただ場違い感があり、数えるほどしか行っていない。丸子に住んでるときに通っていた、丸子の支援センターが恋しい。
3	まだ小さいため
4	以前利用した事があるが、前から利用して居る仲間グループが出来ているので使いづらい。環境も悪すぎるので利用したいと思えない。
5	園に通園している為、利用ができないと断られた
6	何となく利用時間を調べるのが面倒に感じてしまっているのと、私自身がいろんな場所へ出掛けた方が気分転換になって好きなので利用してません。
7	家のほうが楽だから
8	行く機会がないから
9	行く時間が作れないため
10	小規模保育所に通園しているため
11	存在を知らなかった
12	託児も保育園扱いで利用出来ないため
13	知ってる人がいないから
14	仲の良いグループが出来ており利用しづらい雰囲気がある。
15	特にない
16	特に必要としてないから
17	日中保育園に預けているため、利用出来ない。
18	必要ない
19	風邪など移りたくないため
20	平日は保育園にいき、土曜日は兄もいるのでなかなか行くという選択肢にならない
21	平日保育園に行っていて土日もお出かけしているから
22	保育園に行っているため
23	保育園に通っているため
24	保育園に通っていると利用できないため。できるなら、夫が週末はいつも仕事なので、自分と子供で遊ぶ先として利用したい。
25	保育園に入っているため。入園していると利用できないんですよね？
26	保育園へ行っているため、利用していいのかわからない
27	保育園を利用していることと、小学生の兄弟もいるので利用対象外かなと思うので。
28	保育園利用のため
29	幼稚園に通っているから
30	幼稚園に通っているため
31	利用したいですが、保育園に通っているため利用できません。
32	利用する必要がないから
33	利用の仕方が分からない

【0～2歳児の保護者】

問10:子育てに関する環境や悩みなどについて(「気軽な相談先(2. いない/ない)」、「配偶関係(2. いない)」、「回答者(1. 母)」、「年代(0-2歳)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	気軽な相談先	子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。
0-2歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	気軽に相談出来る場所
0-2歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	未満児を預けられるような施設の充実化が必要。加配が可能になるように、保育士の確保、賃金を引き上げる。各保育園に看護師を配置する。 産後ヘルパーを気軽に使用できるようにする。 保育係の対応や質の向上。 地域のちょっとしたおせっかいサークルみたいなものをつくる。民生児童委員の訪問、東御市の民生児童委員の活動がみえない。 市の保健師の質の向上。忙しいのはわかるが、子供の検診での相談に対する対応が不満。
0-2歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	幼稚園や保育園が休みの日に、気軽に預けられるところが欲しい。 病児保育も、もっと手続きが簡単で気軽に預けられると、使いやすい。
0-2歳	2. 父	1. いる	2. いない/ない	何ヶ月毎に訪問があると相談しやすい
0-2歳	2. 父	1. いる	2. いない/ない	支援センターが保育園に通っていない未就学児に限定されており、どこにも相談出来ず移住してきた身としては非常に子育てに関して肩身が狭い。市に相談しても解決には至らない。 祖父母や親戚がいない親たちのサポート体制も充実させてほしい。体制に対しては近隣の市より遅れを感じる。
3-5歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	1、子供の医療費を無料にして欲しい(無料の地域があるので、不公平に感じる) 2、子供の人数や親の収入に関係なく子供への手当てを増やして欲しい。 3、保育園以外で休日に気軽に利用できる子育て応援施設や制度があるといざと言うときに助かる。
3-5歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	金銭的支援。様々なサポートシステムがあってもお金がないと結局受けられない。だからそもそも子供を産まなくなると思う。
3-5歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	病児保育、仕事で帰宅が遅れる際の子供の送迎
3-5歳	1. 母	2. いない	1. いる/ある	子育てに行き詰まった時の悩み相談や、同じ境遇の方達との話し合いの場を設けて頂きたいです
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	①子育て支援金を増やしてほしい。とにかく子育てにはお金がかかるので、お金がほしい。 ②保育園の育休退園をやめてもらいたい。育児休暇中も上の子どもを保育園に預けられる体制を整えてほしい。→二人目を産んだときに、母親が育児休暇を取っているからと言って保育園を退園させられた。これが母親にとってかなりの負担で、下の子の育児休暇なのに上の子どもに時間を取られた。産後で身体はポロポロなのに、休んでる暇がなかった。こんなことしてるともっと少子化になると思う。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	こちらからポイントメントを取る様な場所へ行って話を聞いてもらうのではなく、定期的に最近の様子などを聞いてくれる場所や人がいるといいと思う。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	ワクチンの接種券は一括で受け取るが、接種時期になったら送ってほしい。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	以前行政に相談した際に辛くて電話したのに話を聞いてもらえるのは先の日付になってしまい、辛いその瞬間に助けてもらえるところはないんだなど実感した上に相談日にも結局母親が悪いというようなことを言われたことがあるので家族知人以外に相談しようと思わなくなった。辛い時にすぐ来てくれる、すぐ話を聞いてくれる場所や機関があったらすごく助かると思う。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	一時預かり制度の充実

年代	回答者	配偶関係	気軽な相談先	子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	気楽に子供を預けられる施設があればいい
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	気軽に寄って話せる場所。カフェのような。支援センターみたいな所は改まって行きづらい
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	気兼ねなく預けられる環境
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	緊急的に子育てができなくなった際(どこかを痛めてしまったなど)、短期間でいいので預けたり訪問してくれるサービスが欲しい
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	金銭面
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	子供を預かってくれる 育児について学べる機会の提供 お金の補助
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	自分にもmeタイムが、ほしい時 気軽に子どもを預けられる無料サポート施設。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	手当てが欲しいです
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	体操教室とか習い事が出来る場所が増えると嬉しい
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	短時間でも子どもを預かってもらえる場所がある事。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	土日、室内で遊べる場があるといいです。東御市の子育て広場は、保育園に通っている家庭は利用できません。上田市のにじいろ広場は土日、誰でも利用可能なため、そちらまで行っています。東御市にもそういう場所があるといいです。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	認定外保育園に通わせてますが、土曜日保育を希望すると、代休とらされたり、病欠とは別にとらないといけなかったり、年長の長男は土曜日保育園の体制として受け入れてもらえなかったり、があり、どうしても祖父母にお願いしてしまうしかない環境があります。もう少し、働く親が負担なく、預けられる環境があればいいなどおもいます。(これは六歳長男、三歳次女の事)2歳の子に関しては、特になし。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	保育園にもっと入りやすくしてほしい。周りの友人も、居住地域で預けられず、夫婦の負担が大きく困っている。 また、リサイクルの服を無料で貰える場所をつくるなど、補助がほしい。お給料が多少あがったと思うと保育料も上がり、経済的余裕が生まれません。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	未満児で預ける家庭が多く感じる。子供は欲しいけど働かないといけない環境が多いので金銭面をもっと分厚くしてほしい。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	預け先がどーしてもない場合に 安く預かってもらえる所
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	両親の体調不良時等緊急の際は休日であっても預かってもらえる場所が欲しい。
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ ある	金銭支援
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ ある	金銭的なサポートが足りない。
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ ある	保育園、学童の余裕

年代	回答者	配偶関係	気軽な相談先	子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ ある	保育園の未満児無償化、 2人目がいる家庭は片親が働いてなくても保育園に預けられるようにしてほしい
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ ある	未満児保育で、子供を保育園に預けていました。保育料がどうしても高く負担だったため、 未満児保育の保育料も無料になると大変嬉しいと思いました。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	こどもと関わる時間を増やすために家事代行などのサービスを気軽に使える案内やシステム があるといい。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	医療費無償化等
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	気軽に相談、依頼できる体制
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	近くに家族、親戚がいること
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	仕事をしているので、子供が体調不良になった時に仕事を休みやすい環境づくり
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	仕事をしているので急な熱対応など体調不良の時代わりにお迎えや、病院に連れて行って くれる支援があるといい
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	子供の人数だけ有給の日数を増やして欲しい
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	心が追い詰められた時にクールダウン出来るような場所の提供
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	双子だったので買い物をしてくれる人がいたら良かった
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	体調不良時に預かってもらう 子育て世代への補助金
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	同じ生まれ月の人との交流。入園前の2歳～3歳頃や、年長といった節目に、近況報告や悩み など相談できる場があれば面白いと思う。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	配偶者や祖父母がいる母親でも、気軽に乳児・幼児を見てくれたり、預かったりしてく れる場所、サービスがあると助かると思います。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	発達や健康状態をもっと気軽に相談できる人がいることは、とても大切。ご時世で、病 院に行きづらくなっている。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ ある	頼れる実家が遠いので、用事がある時の子どもの預け先に困る。保育園の一時保育以外 にも、気軽に預けられる場所があると嬉しいです。
3-5歳	2. 父	1. いる	1. いる/ ある	LINEのチャットによる相談窓口

【0～2歳児の保護者、3～5歳児の保護者：問48】【小学生の保護者：問24】

「子育て全般について」の2つの設問（「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすすくない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え）

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
3-5歳	1. 母	1. いる	1	3. 子育てしやすすくない	満足できる事はない。	季節性の予防接種(インフル、コロナなど)の金額について、補助がほしい。(私の生まれた地域では、子供は1000円で受けられた)給食費をなくしてほしい。子育て支援金がほしい。低所得や片親だけに支援金ではなく、平等にしてほしい。クーポン券などではなく、現金にしてほしい。
小学生	1. 母	2. いない	1	3. 子育てしやすすくない	ひとり親への支援や給食費の有償、就学支援金の使い方等、こども医療費が無料じゃないこと等、疑問に思うことが多い。給食での牛乳配布も。こどもファーストじゃない。他の市町村よりだいぶ遅れているとかんじる。子育てにお金を使う気のない市なんだろうと思う。子育てにお金を使う気がない市は未来が薄い。人口過疎を目指してるのか？	
小学生	1. 母	1. いる	1	3. 子育てしやすすくない	支援してもらった記憶もなく、どのような環境があるのかもはっきりとわからない。	
小学生	1. 母	1. いる	1	3. 子育てしやすすくない	他県などは医療費完全無料じゃない。給食費が高い 未満の保育代が高すぎて働く意味がない	
0-2歳	2. 父	1. いる	1	2. ふつう	他の市町村は特別支援金など多く東御市はほとんどない	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	なんとか生活はできているが経済的不安が大きい 他市町村は出産祝金としてまとまった補助制度がある。 そういったものも東御市も検討してほしい	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	親が働いてないと保育園に入れない (年少さん～でも) 子供の遊ぶ場所がない	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	保育園の育休退園は子育て環境が優れていると言っている割には良くないと思います。誰のための育休休暇なのか、産まれた子どもを見るための休みなのに、上の子どもを見るための期間ではないと思います。保育士がいらっしやらないのか、子どもを見てくれる場所が少ないのか、私は他の地域の知人に驚かれました。今のご時世子どもが少ないと言われている割には子育て環境が整ってないと言えそうです。 子育て支援センターがあるのはとても良いですが、コロナで利用時間が限られ、子どもも運動不足で家に帰ってもはしゃぎ、親が疲れる始末でした。	所得制限に関係なく子育て支援金がほしいです。母子家庭とか住民税非課税世帯等だけに支援金が振込まれるのは不公平ではないでしょうか。毎日子どもを保育園に預けて、仕事して、税金納めている家庭にも支援金をお願いします。

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
0-2歳	2. 父	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	五万貰っただけで、他に何も無いから	
0-2歳	2. 父	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	前述の通り、市として何もしてくれないし、対応はしてくれない。	問題点にばかり指摘され、幾度となく発達に対して問題点を言われる。上の子ども同様であった。
3-5歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	子育て世帯に金銭的支援が少ない、もっと踏み込んだ対応をして欲しい。保育園への入園の相談に行った時、保育課の職員の態度が悪すぎて、何を言っても無駄なんだろうなと思った、諦めた。東御助産所のスタッフの方々はとても優しく産後大変だった時にとても有り難かったです。	田中小の児童館が古すぎて可哀想。小学生の放課後の居場所の選択肢が少なすぎる。この時代に鍵っ子は本当は良くないと思いつつ、仕方なくそうしている。時代が変わっている中で、ろくに育児に参加してこなかったであろう世代が考える子育て世代へのサポートや支援に正直期待はしていない。このアンケートもそうだが、本当に支援していくつもりはありますか？あるのならば、早急に形に表して頂きたい。こども
3-5歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	子供に優しいお店がないため	子供の洋服だったり雑貨類のお店、ファミレスや屋内で遊ばせる事の出来る施設が市内にはないので、親子で楽しめるという意味での子育てはしにくい環境です。病院も市民病院に集中していて混んでいる。習い事も市内で見つけるとなると選択肢が狭い。東御での子育てはメリットがあまり感じないです…。
3-5歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	出身地域ではないので、地元や首都圏の子育て環境と比較してしまうと不十分に感じる。	
小学生	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	使いにくい	週に1日だけ放課後預かってほしいとかだと児童館を利用してくれと言われたが児童館は6時までしか預かってもらえず、結局1年生から鍵っ子になって留守番させざるをえなかったベビーシッターなどは料金が高くて無理だった
小学生	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすすくない	児童館の対応があまり良くない	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	4. わからない	いいと感じる出来事がない	室内遊び場を増やしてほしい 保育料が高い
0-2歳	1. 母	1. いる	2	4. わからない	市立の保育園の保育士は大変良くしてくれる。私立の保育園の保育士で一部対応に不満があった。 加配ができなく不満。市立は、看護師が称津にしかなく不満。 子育て支援がどのようなものがあるか知らない。不明。 ハード面の環境はよいと思う。	保育士の確保と賃金の引き上げ。 看護師の配置。 病気や障害の対応ができるように保育園が変わってほしい。 保健師の質の向上。 教育面では、いじめや不登校の対策対応。  ほどよく田舎で、気候も良く、高地トレーニング施設、海野宿など誇れるものがたくさんあるので、東御市で子育てして生活してとても良いと思えるように行政も頑張ってください。

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
3-5歳	1. 母	1. いる	2	4. わからない	育休中に未満児は退園させられたから。	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	2. ふう	宛名の子は第二子ですが第一子が市内幼稚園に通っており、そこでの環境や教師園長の対応など不満点があり相談したところ、結局何もできないとの回答。他にも何人か相談しているのですがみんな何もできないから我慢してくれと断られているとのこと。通わせている子供達に不利益があるから相談しているのに対応してくれないのはかなり不満。制度的に難しいとしてもこれだけ声があがってるのであれば県なり何なりに相談して欲しいと強く思います。市内1ヶ所しか幼稚園がなく他に選択肢もない中で保育環境に不安や不満がある時に相談もできない、異動することも市内では他に幼稚園ないので不可能、結局我慢して通わせるしかないのは安心して預けることができない=子育てに優しくないと感じます。	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	2. ふう	環境は良いと思うが、子育て支援は何をされているのか(何に力を入れているのか)よく分からない	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	2. ふう	乳幼児検診をする際の、職員の方の中でマニュアル通りのやり方で冷たい感じの人がいる。子供には普通よりも遅くても大きくなれば人並みになる人が多いと思う。何でも病名を付けるのはどうなのかな?と思う。検診の職員の方は確かに知識はあるかもしれないけど、知識があるなりの対応をしてほしい。	子供が欲しくても金銭面で諦める場合もあると思うので、東御市なりのサポートがあれば良いとおもう。
0-2歳	2. 父	1. いる	2	2. ふう	児童手当が少ない	
0-2歳	2. 父	1. いる	2	2. ふう	利用方法が分かりづらい。 雰囲気あまり良く無い。	
3-5歳	1. 母	1. いる	2	2. ふう	あまり何かをしてもらっている感じがしない。 自分から何かを訴えないと教えてくれない。	病児病後の使い勝手がすごく悪い。いざ使おうとすると看護師がいなくて使えない。 妊産婦の援助も近隣市町村に比べて低い。 近隣市町村は3人目以降出産で祝い金が出たりするが東御市はない。
3-5歳	1. 母	1. いる	2	2. ふう	現在、幼稚園に通わせてるが長期休暇中のみ預かってもらえる園が市内にはない。	
3-5歳	1. 母	1. いる	2	2. ふう	子どもの習い事などの支援がない。共働き世帯が多いのに、地区の行事や保育園保護者会の負担がとても多い。	
小学生	1. 母	1. いる	2	2. ふう	お金の補助金が少ない。医療費、学費	

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
小学生	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	児童クラブに入れず、児童館を利用しているが、親の仕事が遅くなるときは児童館のお迎え時刻に間に合わないので留守番させている。長期休みも、児童館の開館時間が遅いので、子どもが道沿いの公園で時間を潰してから行っている。防犯の面でも、心の面でも、色々な面で不安。子育てに健全な環境とは言い難い。	学校の予算が年々削減されていると聞きました。果たして、人を育てることにお金をかけられない自治体に未来はあるのでしょうか？子どもの教育にお金をかけられる家庭の子は都会へ出ていき、そうでない子だけが地元に残る…という格差を埋めるために、学校教育には期待しています。是非、地域全体で子どもの育ちを応援する東御市であってほしいと願います。
小学生	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	障害児に対する支援が薄い	
3-5歳	1. 母	1. いる	2	1. 子育てしやすい	年度途中の入園希望を出す予定であることを相談すると、育休延長を打診されたこと。延長はキャリア的に希望していなかったため、自分で年度途中で入れる保育所を予約しなければならなかった。人員のこともあり、難しいのもわかりますが、年度途中の入園の受付も4月入園希望者と同じように受付ける柔軟さがあればいいなあと思います。	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	3. 子育てしやすい	休みの日などに、気軽に預けられるところがほしい。ベビーシッターの助成金なども助かる。病児保育も、システムをもっと簡単に、すぐ預けられる仕組みにしてほしい。あと、もっと気軽に子育てについて相談出来るところがほしい。今既にあるとするなら、もっと周知してほしい。	第三子の保育料無料は有り難い。でも、小学校に上がると地味に給食費の負担が大きい。給食費を無料にしてほしい。少子化と騒がれる昨今ですが、産ませたら終わり、と思うほどに子どもに対する制度が少ない。産んでも、手当てを出してくれるだとか、将来を担う子供達の支援を、もっとしてほしい。
小学生	1. 母	2. いない	3	3. 子育てしやすい	可も不可もないから	柘津は子供が少ないせいかわ、習い事をするのも大変ですし、とても閉鎖的です。実家がこっちゃだったので戻ってきましたが後悔してます
0-2歳	2. 父	1. いる	3	4. わからない	是非も無し	
3-5歳	1. 母	1. いる	3	4. わからない	小児科が1つしかないの、いざという時に不安があります。  以前の市町村は医療費が無償だったのですが、500円とはいえ各医療機関や薬局ごとに医療費がかかることが地味に痛手です。  市のラインに登録していますが、年配の方向けのイベントや講習に比べて幼児向けのものはあまりないような気がします。  生活している中で、子育てでとても困る！ということはありませんが、一方で「子育てにとっても力を入れています！」ということもないかなと思います。	保育園には比較的入りやすいと聞きました。一方で、育休になると子供が退園になると聞いて、子供がせつかくなれたコミュニティーを出されてしまうのは親にも子にも負担かなとも思います。

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
小学生	1. 母	2. いない	3	4. わからない	他の市町村の状況や環境がわからないので、良いのか悪いのかがわからない。	
小学生	1. 母	1. いる	3	4. わからない	未就学時は支援に満足だが、小学校に入学してからはあまり支援が感じられないため。児童クラブに入れるか毎年不安になる。	学校の先生の負担を減らしてあげて欲しい。教師が減らない様にして欲しい。
小学生	1. 母	1. いる	3	4. わからない		質問の主旨とは違うかもしれませんが、保育園の自由保育をやめてほしいです。
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふう	おむつ、ミルク代の補助などがあるといい	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふう	まあまあ	子ども手当が増えたら嬉しい
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふう	もっと手当があってもいいと思う	未満児も保育料無料にしてほしい、それかもっと安くしてほしい
0-2歳	1. 母	2. いない	3	2. ふう	雨の日や暑い日に屋内で遊べる施設があると良いなと思い、この数字にしました。	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふう	可もなく不可もなくといったイメージ	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふう	公園や市民病院の小児科が良いことは満足。就園児は、週末に公園以外に行ける施設やセンターがないのは改善希望。また、車が多いのに歩道が未整備の道が多く、住んでいる地域で散歩が怖い。	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふう	子供にかかる医療費負担や経済負担をもう少し軽減してもらいたいため	伊那市では子供の医療費が無料だったり、出生時に3万円分のオムツ券・ゴミ袋の配布をしているなど経済的な負担が軽減される制度がある。こういった制度を取り入れてみてはどうか。子育て世帯には大変ありがたい制度となると思う。
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふう	特に不自由を感じてはいないが、手厚いとも思わないので。	まもなく産休育休に入るのですが、在園中の子どもは産育休中も継続して預けることが出来るようになったと伺い、とても助かりました。今の子育てはどうしても閉鎖的になってしまうような気がして、だからこそ周りの助けが必要で、これまで色々な土地に住みましたが、様々な制度や施設、人に助けてもらってここまでやってこられました。 どんな制度があるかなかなか分かりにくいし、調べてもよく分からない…と言うことが多いので、分かりやすく発信していただけたら嬉しいです。
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふう	保育園の方針がいろいろ変わる事に違和感を感じる	保育士確保の為にパート採用など臨機応変な対応をして欲しい。
0-2歳	2. 父	1. いる	3	2. ふう	2人目がいるのに保育園に入れられない。	

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
0-2歳	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	特別困ってないが、特別支援充実している感じもない	アメリカの二重国籍の子のため、土曜は英語目的で10時から15時までインターナショナルスクールを利用。軽井沢まで行くのが大変。保育園は公立を希望したが2人同時に入れる園がなく、私立になった。転入時保育園活動が十分に情報集められなかった。
0-2歳	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	未満児の保育料が高い 支援センターの利用制限がある事	建物や道を作る前に出産費用や教育の無償化と言った自然と人が増える税金の運用を切に願います。
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	上の子が保育園に在園していないと2人目は保育料が半分にならないのはとても不満でした。	
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	上の子は現在放課後デイサービスを利用しているが、そこに行き着くまでにとても苦労した。発達障害を持つ子の支援が満足ではなかった。(担任の先生は相談に乗ってもらって色々支援してくれたが、担任の先生だけでは限界がある。) そういった障害がある子に対する支援の情報を得にくい。	
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	入園前までは支援センターなどでよくお世話になっていたがそれ以降は保育園なので特別これというものが無い。保育園はとても満足。	スポーツ支援事業みたいにスポーツ以外でも試しに習えるものを多くして欲しい。
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	保育園等の施設は充実しているため満足しています。 東御市は外で遊べる公園が少なく、残念です。	子どもが3人いると毎月の医療費の負担を感じます。インフルエンザの予防接種も補助金等で対策していただくと嬉しいです。
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう		市内の保育園に通っています。自主性を尊重しているようですが、自由すぎると思います。朝の会、帰りの会、昼食時揃っての挨拶等、時間の区切りもなく本人の意思に任せて自由に過ごしているようなので、社会生活を送るための最低限の基準はまだ大人が教えてあげる年齢ではと思う。 協調性にかけているように思います。 せめて挨拶は揃ってして欲しい。
3-5歳	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	無料で使える施設がある。	子育て世帯の金銭的な負担が大きくなるような仕組みの拡充
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	インフルエンザワクチンなど、予防接種の無料化を希望したい。 放課後、学校で体を動かしてもらえる元気塾などを希望します。	流行の防止策として、親子の予防接種の無料化を希望します。
小学生	1. 母	2. いない	3	2. ふつう	学年が大きくなり、乳児幼児がどのように東御市から優遇されているのかわからない為	駅や行きたい場所へのデマンドバスの普及、子供だけでも乗れるようにしてほしい

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	児童クラブを利用してその環境に感謝しています。医療費の補助も大変助かっています。その一方冬や天気の良い日に遊べる施設があるといいなと思います。長期休暇の時に児童クラブを利用する際、有料でもいいので昼ご飯を提供してもらえると助かります。そういう地域があるとニュースで聞いたことがあるので。	コロナやインフルエンザで長期休まないといけなくなった時、せっかくiPadが生徒一人一人に普及しているのに、授業を視聴できるなどの対応がなかったのが残念です。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	小児科が少ない 北御牧地区なので、バス通学か送迎になり、大変 夏休みに科学教室などがあり、それはとても楽しかったと話していた	各学校で夏休みに科学教室の様な催しがあり、それは今後も続けて欲しい
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	上を見るときりが無いと思うので	コロナが5類に落ちたら、一気にPTAや学校行事が元通りになるのはなぜでしょう？ 負担が大きすぎるものもあるし、不必要（行事の来賓祝辞など）なものも多いです。見直しできませんか？ あと、父の育休中、子供より手のかかる父が多いです。父親教育もしてほしいと思っています。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	特に困っていることもなく、特別良くも悪くもないので、真ん中を選びました。	
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	費用に満足できない	子供の精神面での不安がある時に、その子の年齢に応じた相談できる機関がほしい。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	普通かなと思うので。	
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	普通だと思うから	中学のそばに自由に学習できるスペースがほしい。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	保育園までは手厚いが、入学すると、親子とも野に放たれるかんじ。 親も祖父母も年を取っていろいろなあっても、相談する暇も場所もない。	子育ては、年長までで、あとは、児童を生かしておけば良いだけなのか？と、感じる。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう		教師一年目の先生をすぐに担任にするのは、新人教師にも児童にも負担が大きすぎると感じます。一年目は副担任から始めるなどしてあげた方がいいと思います。 副担任から始め、先輩教師の指導方法や生徒との接し方、学校の方針・行事など学ぶ期間を設けてあげて欲しいです。最初から実践でやるのは気の毒な気がします。 余裕のない教師の姿を見て、児童（子供）も不安になります。

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう		保育園では外などでのびのびと活動してきましたが、小学校へ入学した途端、机上での学習が増え、運動量がガクンと落ちます。子供たちにとってはかなりのストレスだと感じます。学習指導要項に則っての学習だと思いますが、それに窮屈さを感じる子はたくさんいると思います。マニュアルに沿っての世の中ですが、それではマニュアル通りにしか動けない大人になることを懸念しています。公的の教育機関では指導できないこと、フォローできないことをフリースクールや地域の遊び場などで支援していく必要性を感じています。フリースクールの誘致や整備などもしていただきたいです。
小学生	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	子供向けの講座(里山、陶芸教室、料理教室など)がいろいろあり充実していて良いが、一方で経済的支援が弱いので考えていただきたい。	
小学生	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	支援の程度がわかり	
小学生	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	不満はないが、特に特別な支援等の実感はない為。	
小学生	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	良くも悪くもないため	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	1. 子育てしやすい		最初から保育園に在籍している子どもは、その後母親が次の子の出産で育児休暇中になった場合にそのまま園に在籍できるのは不公平だと思う。
小学生	2. 父	1. いる	3	1. 子育てしやすい		塾に行く経済力がない家庭のために、子ども達が気楽に教員以外に勉強を教えてもらえる場所があると良い。
小学生	1. 母	1. いる	4	3. 子育てしやすい	どこが足りないかわからないですが、ほぼ満足できる	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	4. わからない	子育て支援センターのみ利用しているが、職員の方々も優しく、気軽に行けるので良いと思う。	オムツの支援が欲しいです。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	4. わからない	補助金が出たり母乳券による補助があったりしたから。 子育て支援センターをよく利用するから無料の身体測定、相談ができる	公立保育園の未満児の枠を増やしてほしい。 離乳食教室をもっと開催してほしい。 定期健診をもっと開催してほしい。
3-5歳	1. 母	1. いる	4	4. わからない	子育て支援センターでのイベントが充実していると感じるため。	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	割と支援がある	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	検診に行けば相談できる	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	住みやすいので	

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	保育園がキレイ	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	保健センターや子育て支援センターにて様々な相談や情報を得ることができていると思う。	未満児は希望している保育園に入りづらいとの話を聞いており、現在申込中であるが少し心配している。また、今後第2子を考えるにあたって、すでに子ども(未満児)を保育園に預けている間に次の子どもの育児休暇に入ると退園しなければならないというのも新聞で知り東御市での対応についても不安がある。働き続けたい親にとって第2子を考えることを躊躇することのない対応を望んでいる。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	預ける施設が気軽に利用出来ない等	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	市民病院が土日や夜間もやればさらに良い	子どもの通ってる園に嫌な先生がいる(和保育園)失礼なこと言ったのに謝罪はないし2度と関わりたくない
3-5歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	未満児で無ければ希望する保育園に入れる	
小学生	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	子育ての環境が良いと思う	子育てに関する情報をどこでたくさん知ることができるのか知りたい。いろんなことを経験したお母さんたちの声も聞くことができる機会があるといいと思う。
小学生	1. 母	1. いる	4	2. ふつう		小学校の先生にもっと発達障害について理解したり、知ってもらって対応してほしい。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	もう少し子育てするお母さんの味方になれる場所がほしい。	我が家は3人の子どもがおります。物価高騰などやはり金銭的にきつい時もあります。子どもたちがやりたいこと、をもっと応援できるように 低価格な習い事がたくさんあったら嬉しい。また、雨の日に遊べるような大型遊具施設などかあったり 自分のためのmeタイムも取れるよう 無料預かりサポート施設などがあるとありがたい。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	公園は広いのでいいと思います。健診でも親身になって頂けるのでこちらも相談しやすい。ただ雨や雪の場合に遊べるところがない。	い
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	今年東御市に引越して来たばかりでまだ環境や支援について知らないことも多いため	

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	子育て広場が利用できないから。室内の遊び場がないから。	改善されているのかもしれませんが、下の子妊娠中産前産後、計半年しか保育園で預かってもらえず(その後は限定的な一時保育をお願いしましたが)日中、2人の子育てをするのはとても大変でした。  少子化対策等叫ばれますが「2歳差の子どもを望んだのは、お宅の勝手ですよね」と言われている気持ちになりました。  希望する人のニーズに合わせた保育園というか、子どもを預かってもらえる制度にしてほしいです。全国一律でなく。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	支援センターに通うにあたって、おもちゃが充実していたり、無料で親子体操などできるのは楽しい。	無料でできる親子体操などは続けて欲しいです。 もしくはもっと小さい子どもがいるお母さんが利用できるワークショップなどあったら嬉しい。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	乳幼児検診の保健師さんや保育園の先生方の対応が良い	
0-2歳	2. 父	1. いる	4	1. 子育てしやすい	特に不自由な事がない為	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	ほぼ不便に思っていない。 強いて言えば、市民病院の小児科はいつも混んでいるため、先生の負担が大きいのではと心配になります。	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	概ね満足	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	公園が沢山ある 支援センターがある	保育園や学校でできる体操教室などがあれば嬉しい
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	困ることなく、仕事と家庭の両立ができています。	今年度、田中の児童クラブに入れぬお子さんがいたので、仕事と家庭の両立ができるように、受け入れの枠を増やしてほしい。児童館含め、施設を増築してほしい。
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	子育てで困った事があった時に、すぐに対応してくれた	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	長期休暇中の児童館の開館時間が遅い。ファミリーサポーター制度が充実していない。	

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	これからの時代に向けて自立、自発的に考えて行動できる子に育つような取り組みを始めていただいているように感じる	子供は菌、ウイルスなどにまみれ、それらを味方にし強い体を作っていくものだと考えています。過度な対策等は心身ともに子供の成長の妨げになってしまうと思うので元気であればマスクなども早急に外すようにアナウンスして欲しい。今まで学校での指導でマスクをさせていたので今度は外す指導をしっかりとしてほしい。個人に任せては外せない子はずっと外せないままになっている。  東御市の保育園で数年前から子供自身が考え、行動するという保育指針にとっても期待しています。先生や目上の人の指示を待ち、素直に聞くという人間では通用しない時代になっていくと思うので日本の良い伝統を守りつつ海外の教育のいいところを積極的にとりいれてほしいです。
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	パートで働いているので、児童館の利用時間がちょうど良い。ただ、田中児童館が高学年が利用できないので、兄弟で長期休暇時に預けることができなかつたりすると困ることがある。	
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	子育てしやすいと感じているから	
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	色々なイベントがあったり子育てしやすいようにというものが多い	
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	悩んだ時などすぐ対応してくれる	
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	保育園の、第三子以降保育料無料がとても助かっています。子育て支援センターでお世話になっていた先生が保育園の先生になったりと、そういうパターンも少しあり、話しやすいので嬉しく思います。子育てイベントもたくさんあるので、都合が合えばたくさん参加したいです。低学年のうちによく市の企画に参加してたのですが、高学年になると、週末は習い事で忙しくなるので、行けなくて残念に思うことが度々あります。	
小学生	1. 母	1. いる	5	2. ふつう	市が子育てに力を入れている	

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
小学生	1. 母	1. いる	5	2. ふつう	親身になって相談に乗っていただけた	教室に入ることが困難になってしまい、就労したくても長期休みの預かりが学校の学童には行けそうにない。転勤で来ているので周りに頼れる人はおらず気軽に預けられない。 勉強をさせたくても家では、だらけてやる気がおきないので遅れが気になる。ある程度教える位しか出来ない。
小学生	1. 母	1. いる	5	2. ふつう	地域密着型で子育て世帯でなくても子育てに関する理解が深い方が多いのでボランティアのかたや見守り隊など積極的なことが本当に嬉しい。	一日の大半を学校で過ごす子供たちに心豊かにのびのび過ごしてもらうために先生達にもものびのび指導をしていただきたい。マニュアルではなく生徒へ寄り添った形の指導であってほしいと思います☺
小学生	2. 父	1. いる	5	2. ふつう	児童館の存在は大変助かります。	
小学生	2. 父	1. いる	5	2. ふつう	特に児童クラブには助けられている	
0-2歳	2. 父	1. いる	5	1. 子育てしやすい	子育て支援センターが気軽に利用できる 産後ケアが受けやすい	支援センターなどは充実しているが、小児科の医療機関がもっとあってもいいのではないか。
3-5歳	1. 母	1. いる	5	1. 子育てしやすい	育児休業中に、保健センターへ気軽に体重を測りに行ったり、相談する事ができて良かった。	
3-5歳	1. 母	1. いる	5	1. 子育てしやすい	産まれる前は助産師さんの訪問があり、産まれてからは新生児訪問や検診で相談ができる。スタッフの方もやさしく親身になってくれてとても心強かった。子育て支援センターもよく利用しました。保育園へ入ってからも、不安なことやわからないことは先生方に相談できるので、安心です。	おかげさまで、楽しんで子育てができています。 本当にありがとうございます。 来年小学校へ入学ですが、土曜日や祝日の出勤もありますので、そういう時に小学生でも保育園なみに預けられるところがあればありがたいと思います。
3-5歳	1. 母	1. いる	5	1. 子育てしやすい	子育て支援センターを気軽に利用できるところ。大きな公園がある。	
3-5歳	1. 母	2. いない	5	1. 子育てしやすい	支援センターや市民病院では色々とお世話になった。いつも温かく対応してくれる。	
3-5歳	1. 母	1. いる	5	1. 子育てしやすい	保育園に入り易い。人口が密集しておらず、自然が多く伸び伸びした環境がある。	
小学生	2. 父	1. いる	5	1. 子育てしやすい	生活環境において不便がなく、治安も良い。学校生活では先生方の熱心な指導が感じられる。	
小学生	祖父		5	1. 子育てしやすい	充実している	なし

## 第 3 期東御市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）

### 第 1 章 計画策定にあたって

#### 1 計画策定の趣旨

##### <記載内容の要点>

- 近年の子どもと子育て家庭を取り巻く社会情勢の変化を捉え、平成 31 年度策定「子ども・子育て支援事業計画（第 2 期）」における子育て支援施策のさらなる充実と深化
- 子育て当事者、こども本人のニーズに即した子ども・子育て支援の質・量の充実
- 地域社会全体が子どもと子育て支援への理解を深め、協働して役割を果たしていく必要性

#### 2 計画の性格と位置づけ

##### <記載内容の要点>

- 子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）第 61 条に基づく事業計画
- 次世代育成支援対策推進法の趣旨を踏まえ、次世代育成支援行動計画の理念を継承する計画
- 第 3 次東御市総合計画、地域福祉計画、関連計画（障がい児福祉計画、健康づくり計画、自殺対策計画、教育基本計画、青少年健全育成計画）との整合
- 「こども大綱」「長野県こども計画」を勘案した「東御市こども計画」<sup>注</sup>へ包含する計画として策定
- 子どもの貧困対策推進法に基づく子どもの貧困対策計画を、子育て支援計画の追補版として策定

##### \*\*\*\*\*注「こども計画」

… 市町村は、国の「こども大綱」や県の「都道府県こども計画」を踏まえて、①子ども・若者育成支援推進法第 9 条に基づく「市町村子ども・若者計画」 ②子どもの貧困対策の推進に関する法律第 9 条に基づく「市町村計画」 ③法令の規定により地方公共団体が作成する計画であってこども施策に関する事項を定めるものを内包する「市町村こども計画」の策定に努めるとされています。《努力義務》

※「子ども・子育て支援事業計画」は「市町村こども計画」と一体のものとして作成することが可能。

#### 3 計画の期間

令和 7 年（2025）4 月 1 日から令和 11 年（2029）3 月 31 日までの 5 カ年

## 4 計画策定の体制と経緯

### <記載内容の要点>

- 子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童、小学生の保護者及び小学5年生全員）
- 子育て支援審議会での検討
- パブリックコメント

## 第2章 東御市の子ども・子育てを取り巻く現状と課題

### 1 少子化の動向

《関係課データ集計結果》

### <記載内容の要点>

- 減少する出生数（185人⇒154人 5年前比-16.8%）
- 20歳～39歳女性人口の大幅な減少（2,814人⇒2,445人 5年前比-13%）
- 合計特殊出生率は全国平均水準まで低下（1.69⇒1.25）
- 生涯未婚率の大幅な増加（男性：29.6%、女性：15.8%）

《課題・視点》

### <記載内容の要点>

- 進学や就職を機とした市外への転出等による「20代の減少、その後の転入の減少」  
⇒ 女性の「戻りたい」「暮らしたい」を後押しする施策が必要
- 経済的な不安等による「未婚・晩婚化」  
⇒ 女性や若者の収入安定・所得向上、魅力ある職場環境づくりが必要  
⇒ 多様な出会いの機会の創出が必要

※「課題・視点」にあつては現段階において把握できた内容を事務局が整理したものであり、今後はサポートセンター運営委員会で精査したうえ整理していきます。以下同じ。

## 2 働き方と子育ての両立

《アンケート調査結果》

### ＜記載内容の要点＞

- 父母ともに子育てを行う「共育て」家庭は増加（就学前 58%⇒73%）
- 子どもを預かってもらえる親族・知人のいない家庭が増加（7%⇒12%）
- 配偶者以外に気軽に相談できる人の割合が減少（93%⇒87%）
- 子育てをする中での最大の不安・悩み・負担は「子育てへの経済的負担」（就学前：28%⇒47%）
- 5年前と比較してフルタイム働いている母親の割合が高く、共働きが増加（就学後：39%⇒82%）
- 育児休業の取得割合は増加しているが、1歳になったとき必ず利用できる保育所等があれば、9割が1歳までの育児休業を希望
- 母親のフルタイム勤務への転職希望が増加（就学前：32%⇒51%）
- 3歳まで育児休業を取得する制度があった場合、母親の5割は3歳までの育児休業を希望
- 3歳まで育児休業を取得する制度があった場合、父親の3割は1歳までの育児休業を希望

《課題・視点》

### ＜記載内容の要点＞

- 子育て家庭が孤立がちになってしまう社会環境
- 子育てと仕事の両立が難しい状況にある職場環境

## 3 教育・保育

《アンケート調査結果》

### ＜記載内容の要点＞

- 教育・保育事業の利用希望は「認定こども園」と「小規模保育施設」において増加（認定こども園：9%⇒26%、小規模保育施設：4%⇒9%）
- 平日に教育・保育事業を利用していない理由として、「保護者が共に働いていない」割合が減少（59%⇒48%）
- 子どもが大きくなったら保育所等に預けたいとする年齢に対し3割が「1歳」と「3歳」と回答（1歳：27%、3歳：36%）
- 土曜日に定期的な教育・保育事業を希望している8割が「月に数回仕事が入る」と回答（68%⇒79%）

《課題・視点》

《記載内容の要点》

- 多様な教育・保育ニーズを受け止められる環境整備  
⇒ 多様な働き方に対応する教育・保育環境の整備が必要

4 子育て支援事業

《アンケート調査結果》

《記載内容の要点》

- 特に0歳～2歳時をもつ家庭において不定期に保育所等を利用したい希望が増加  
(0歳～2歳：52%、3歳～5歳：43%)
- 保育所等の不定期利用を希望する0歳～2歳の家庭においては「私用・リフレッシュ」を目的とする希望が最も多い(11%⇒74%)
- 不定期に預ける場所として最も希望が多いのが「子育て支援センター」(70%)
- 子育て支援センターの利用は増加しているものの「利用していない」は約7割
- 子育て支援センターの利用希望について、「利用していないから利用したい」は3割
- 小学生をもつ家庭において「子どもの病気や発育・発達に心配や不安がある」とする家庭が顕著に増加(13%⇒37%)
- 小学生を持つ家庭において「子どものとの接し方に自信が持てない」とする家庭が増加(11%⇒19%)

《課題・視点》

《記載内容の要点》

- 保育人材の確保
- 子育ての心理的不安感の解消
- 未就園児の家庭保育の負担軽減

5 子育て・子育ての社会環境

《アンケート調査結果》

《記載内容の要点》

- 「自由記述」欄及び子どもの意見（小学校5年生アンケート）を整理

《課題・視点》

《記載内容の要点》

- 「自由記述」欄及び子どもの意見を詳細に分析し、課題を整理

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

- ◇ 子どもも大人も輝き、人と文化を育むまち
- ◇ 共に支えあい、みんなが元気に暮らせるまち

#### <記載内容の要点>

- これまで東御市総合計画の基本目標を計画の理念に掲げていましたが、「子ども基本法」に掲げられる6つの基本理念、「こども大綱」に示された子ども施策に関する基本的な方針を踏まえ、市の総合計画との整合性を図り、改めて理念を定めます。

### 2 基本目標

- ◇ 基本目標1：安心して子どもを産み育てられるまちを目指す
- ◇ 基本目標2：心豊かにたくましく生きる子が育つまちを目指す
- ◇ 基本目標3：生涯にわたり健やかに暮らせるまちを目指す
- ◇ 基本目標4：誰もが自分らしく暮らせるまちを目指す

#### <記載内容の要点>

- これまで東御市総合計画の基本政策を目標に掲げていましたが、子ども大綱における基本方針、長野県若者・子育て世代応援プロジェクト（改訂版）」を踏まえ、「子ども支援」「家庭支援」「社会環境」の3つに大別し、総合計画のとの整合性を図りながら新たに目標を設定します。

## 第4章 施策の展開

#### <記載内容の要点>

- 第2章「現状と課題」で明らかにした視点に基づき、今後の子育て・子育て支援の「施策の方向性」を明らかにするとともに、取り組みの内容を具体的に記述します。
- 今後、国から示される「子ども・子育て支援法に基づく基本指針」（改正版）を踏まえるとともに、今後長野県が策定する「長野県こども計画」を勘案し、施策を明らかにします
- 今後5カ年（2025年度～2029年度）で取り組んでいく事項について、【目標】⇒「施策の方向性」⇒「施策」⇒「主要事業」の順に整理します。

## 第5章 量の見込みと提供体制

### <記載内容の要点>

- ▶ 教育・保育提供区域
- ▶ 将来の子ども人口
- ▶ 幼児期の教育・保育の量の見込みと提供体制  
⇒各年度における教育・保育の量の見込み並びに実施しようとする教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期を記載します。
- ▶ 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制  
⇒各年度における**地域子ども・子育て支援事業**<sup>注</sup>の量の見込み並びに実施しようとする地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容及びその実施時期を記載します。
- ▶ 教育・保育の一体的提供、小学校との連携の推進体制  
⇒地域における教育・保育施設間の連携、認定こども園、幼稚園及び保育所と小学校等との連携の推進方法を記載します。

※ 上記に加え、今後国から示される「子ども・子育て支援法に基づく基本指針」（改正版）に基づく事項を列挙します。

#### \*\*\*\*\*注 「地域子ども・子育て支援事業」

… 利用者支援事業、時間外保育事業、放課後児童健全育成事業、子育て短期支援事業、乳幼児全戸訪問事業、養育支援訪問事業及び要保護児童等に対する支援事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、病児保育事業、妊婦健康診査事業といった従来の事業に加え、改正児童福祉法において新たに位置付けられた家庭支援事業（子育て世帯訪問支援事業、児童育成支援拠点事業、親子関係形成支援事業）、こども家庭センター、地域子育て相談機関をいう。

## 第6章 計画の推進

### <記載内容の要点>

- ▶ 計画の点検・評価  
⇒ 各項目の達成状況の点検と評価については、個別事業の進捗状況（アウトプット）に加え、事業の成果（アウトカム）についても評価し、進捗状況を明らかにします。
- ▶ 地域や関係機関との連携